学校名

所在地

職業実践専門課程等の基本情報について

設置認可年月日校長名

| 大原簿記ビジネス | ム伤貝号 | | | 髙芝 | 18V | | | 1/1/元元 トの天 1/1/11 田田 | | |
|--|-----------------------------|--|---|---|--|---|--|------------------------------|--|-------------|
| 門学校京都 | 校 | | 9年11月16日 | | | (電話) | 京都市下京区烏丸通 075-344-1341 | | 1072-1 | |
| 設置者名 | | | 認可年月日 | 代表者 | | | 101-0065 | 所在地 | | |
| 学校法人大原 | | | 64年4月1日 | 中本名 | | (住所) (電話) | 東京都千代田区西神 03-3292-6266 | 田1丁目2番10号 ——— | | |
| 分野 | | 認定課程名 | | 認定学科名 | | | 門士認定年度 | 高度専門士認定4 | | 専門課程認定年度 |
| 商業実務 | 商業 | 実務専門課 | 程 税理 | 理士・会計士学 | 学科 | | - | 平成20(2008)年 | 度 平成: | 27(2015)年度 |
| 学科の目的 | 教育基本法 | 去および学校教 | 教育法に基づき、簿 | 記会計・税務に | に関する教育を | を施し、人 | 格の陶冶を行いもって有 | 育為な産業人を育成す | ることを目的とする。 | |
| 学科の特徴(取得 可能な資格、中退 率 等) | 簿記検定、 | 税理士試験、 | 公認会計士試験、 | 電卓技能検定の | の取得を目指 | します。 | | | | |
| 修業年限 | 昼夜 | 全課程の修う | 了に必要な総授業 単位数 | 寺数又は総 | 講義 | | 演習 | 実習 | 実験 | 実技 |
| 4 | 昼間 | ※単位時間、単 かに記入 | 120-940 | 単位時間・単位 | 9,750 単 | | 9,720 単位時間 - 単位 | 9,720 単位時間 - 単位 | O 単位時間 - 単位 | 0 単位時間 - 単位 |
| 生徒総定員 | 生徒爭 | €員(A) | 留学生数(生徒実員の | の内数)(B) | 留学生割合(| (B/A) | 中退率 | | | |
| 80 人 | 0 | Д | 0 | 人 | 0 % | | 0 % | | | |
| | ■卒業者 ■就職希 | 数 (C) 望者数 (D) | : | 0 | , , | • | · | | | |
| | ■就職者 | 数 (E) | : | 0 | | | | | | |
| | ■地元就 | 職者数(F) | · | 0 | J | | - | | | |
| | ■就職率 ■就職者 | | 就職者の割合(F/E | 0 E) | % | 0 | • | | | |
| | | | | 0 | % | 6 | | | | |
| | ■쑤筙右 | - 白める就職者 | 者の割合 (E/C) | 0 | % | 6 | | | | |
| 就職等の状況 | ■進学者 | 数 | | 0 | J | | • | | | |
| 370-1-50 13 07 07 00 | ■その他 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | (令和 | | 度卒業者に関する令 - | 和6年5月1日 | 日時点の情報) | | | | | |
| | | 職先、業界等 | i . | | | | | | | |
| | (令和5年度 | 卒業生) | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | から第三者評価: | | | | 無 | | | |
| 第三者による | | | から第三者評価: ついて任意記載 | | | | 無 | | | |
| 第三者による 学校評価 | ※有の場合 | | | ž | 受審年月: | | 評価 | 五結果を掲載した | | |
| 学校評価 | ※有の場合 | 、例えば以下に | | ž | 受審年月: | | 評価 | 面結果を掲載した −ムページURL | | |
| | ※有の場合 | :、例えば以下に 評価団体: | ついて任意記載 | | 受審年月: | | 評価 | | | |
| 学校評価 当該学科の | ※有の場合 | :、例えば以下に 評価団体: | | | 受審年月: | | 評価 | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ※有の場合 https://w | :、例えば以下に 評価団体: | :ついて任意記載 :.jp/senmon/schoo | | 受審年月: | | 評価 | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ※有の場合 https://w | ・、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac | :ついて任意記載 :.jp/senmon/schoo | | 受審年月: | | 評価 | | 3,400 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ※有の場合 https://w | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 | :ついて任意記載 :.jp/senmon/schoo | ol/kyoto/ | | 数 | 評価 | | 3,400 単位時間 0 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ※有の場合 https://w | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 う | ついて任意記載 p.jp/senmon/schoo 定) | ol/kyoto/ こ実験・実習・ | 実技の授業時 | 数 | 評価 | | | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ※有の場合 https://w | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac 立時間による算 総授業時数 う | ついて任意記載 :.jp/senmon/schoo 定) ち企業等と連携した | ol/kyoto/ こ実験・実習・ | 実技の授業時 | 数 | 評価 | | 0 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ※有の場合 https://w | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac 立時間による算 総授業時数 う | c)いて任意記載 c)p/senmon/schoo 定) ち企業等と連携した ち企業等と連携した ち必修授業時数 | ol/kyoto/ こ実験・実習・ | 実技の授業時 数 | | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ | ※有の場合 https://w | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac 立時間による算 総授業時数 う | ::)p/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 | ol/kyoto/ c実験・実習・ に演習の授業時 | 実技の授業時 数 修の実験・実 | '習・実技 | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科の ホームページ URL | ※有の場合 https://w | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 う う | ::)p/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 | 実技の授業時 数 修の実験・実 修の演習の授 | 習・実技業時数 | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL | ※有の場合 https://w | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 う う | ::jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 うち企業等 | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 | 実技の授業時 数 修の実験・実 修の演習の授 | 習・実技業時数 | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。 | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 う う | ### ### ### ### ##################### | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 | 実技の授業時 数 修の実験・実 修の演習の授 | 習・実技業時数 | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 う う う | ### ### ### ### ##################### | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 等と連携した必 | 実技の授業時 数 修の実験・実 修の演習の授 | 習・実技業時数 | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 う う う う う う | ### ### ### ### ### ### ### ### #### #### | ol/kyoto/ 定実験・実習・ 定演習の授業時 等と連携した必 たインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授 シップの授業 | 習・実技 業時数 時数) | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位時間 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac 立時間による算 総授業時数 う う 変数による算定 総単位数 う | court任意記載 c.jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携した うち企業等と連携した たい | ol/kyoto/ | 実技の授業時数 参の実験・実 修の演習の授 シップの授業 実技の単位数 | 習・実技 業時数 時数) | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況で | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac 立時間による算 総授業時数 う う う う う う う う う う う う う う | court任意記載 c.jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携した うち企業等と連携した た企業等と連携した た企業等と連携した | ol/kyoto/ | 実技の授業時数 参の実験・実 修の演習の授 シップの授業 実技の単位数 | 習・実技 業時数 時数) | 評価水 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した に は な ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac 立時間による算 総授業時数 う う う う う う う う う う う う う う | court任意記載 c.jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ち必修理業をと連携した ちの修単位数 | ol/kyoto/ | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授 シップの授業 実技の単位数 | 習・実技 業時数 (時数) | の授業時数 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した に は な ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac 立時間による算 総授業時数 う う う う う う う う う う う う う う | ci)r(任意記載 ci)p/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携した ち企業等と連携した ち必修単位数 うち企業等と連携した。 | ol/kyoto/ に実験・実習・ に演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 たインターン に実験・実習・ に演習の単位数 | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授業 実技の単位数 ・ 修の実験・実 | 習・実技業時数(時数) | の授業時数 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況で | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体:ww.o-hara.ac立時間による算 総授業時数ううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり | c.jp/senmon/school c.jp/senmon/sch | ol/kyoto/ | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授 シップの授業 実技の単位数 修の実験・実 修の実験・実 | 習・実技 業時数 時数) (で で で で で で と で り が し く く く く く く く く く く く く く く く く く く | の授業時数 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況で | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体:ww.o-hara.ac立時間による算 総授業時数ううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり | ci)r(任意記載 ci)p/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等 うち企業等 うち企業等と連携した ち企業等と連携した ち必修単位数 うち企業等と連携した。 | ol/kyoto/ | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授 シップの授業 実技の単位数 修の実験・実 修の実験・実 | 習・実技 業時数 時数) (で で で で で で と で り が し く く く く く く く く く く く く く く く く く く | の授業時数 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況で | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体:ww.o-hara.ac立時間による算 総授業時数ううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううううりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり | c.jp/senmon/school c.jp/senmon/sch | ol/kyoto/ | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授 シップの授業 実技の単位数 修の実験・実 修の実験・実 | 習・実技 業時数 時数) (で で で で で で と で り が し く く く く く く く く く く く く く く く く く く | の授業時数 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した に は な ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 う う う う う う う う う う う | count任意記載 i.jp/senmon/school 定 ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した ち企業等と連携した ち必修単位数 うち企業等と連携した ちの修単位数 うち企業等と連携した ちから変勢 うち企業等と連携した ちから変勢 | ol/kyoto/ | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授業 実技の単位数 修の実験・実 とップの授業 タップの担象 ドラップの単位 シップの単位 | 習・実技 業時数 時数) (で で で で で で と で り と で り と し く く く く く く く く く く く く く く く く く く | の授業時数 | | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携した況 | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac z時間による算 総授業時数 うう (な数による第 による第 による第 による第 による第 による第 による第 による第 | c.jp/senmon/school c.jp/senmon/sch | ol/kyoto/ に実験・実習・ に演習の授業時 | 実技の授業時数 修の実験・実 修の演習の授業 実技の単位数 修の演習の単位 をの演習の単位 | 習・実技 業時数 時数) (で 要技 (数) | の授業時数 | -AベージURL | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携をした況へんのです。 | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.acc な時間では、 おります。 なります。 なります。 なります。 なります。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする数でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 できる。 | : | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 習・実技 業時数 時数) (で 要技 (数) | の授業時数 | -AベージURL | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。 | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.ac p時間による算 総授業時数 う う う う (変数による第 による第 による第 による第 による第 による第 による第 による第 | : | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 習・実技 業時数 時数) (で 要技 (数) | の授業時数 | -AベージURL | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等をと連携をした況へんのです。 | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac z時間による第 総授業・ がしている。 がは、 なり、 なり、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では | : | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 習・実技 業時数 時数) (習・実技 位数) | の授業時数 | - ムベージUR L 第1号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL 企業等と連携した 実習等の実施状況か に記入) | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: www.o-hara.ac z時間による第 総授業時数 ううう (立数単位数 ううう (で表現を選挙している。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 習・実技 業時数 (でででである。 (専修学) (専修学) | の授業時数 の授業時数 の単位数 | - ムベージUR L 第1号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 - 単位 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施状れか に記入) に記入) | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以 : www.o-hara.acc z時間 | こいて任意記載 i.jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した か必を業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した なかを単位数 うち企業等と連携した ながまる。 なが、まずいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 ながいできないでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいできないできないできないできないできないできないできないできないできないできな | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 晋・実技 (本語・実技 (本語・実技 (本語・実技 (本語・実技 (本語・実技 (本語・実技 (本語・実技 (本語・実技 | の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 が設置基準第41条第1項第 が設置基準第41条第1項第 | - ムページURL 第1号) 第2号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 2 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 1 人 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL と連貫を選挙等ののいた。 に記入) | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以 : www.o-hara.acc な時間 | | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 晋・実技 業時数 ((電・実技 位数 (事修学 (事修学 (事修学 | の授業時数 の授業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を検設置基準第41条第1項9 | 第1号) 第2号) 第3号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位 - | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入) | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以 : www.o-hara.acc な時間 | こいて任意記載 i.jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した か必を業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した なかを単位数 うち企業等と連携した ながまる。 なが、まずいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 ながいできないでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいできないできないできないできないできないできないできないできないできないできな | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 晋・実技 業時数 ((電・実技 位数 (事修学 (事修学 (事修学 | の授業時数 の授業時数 の単位数 の単位数 が設置基準第41条第1項第 が設置基準第41条第1項第 | 第1号) 第2号) 第3号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位 - | |
| 学校評価 当該学科のホージー 以RL と連携はした沢の は、 の属性 ((で記入) に記入) を記していて記していていていていていていていていていていていていていていていていて | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以 : www.o-hara.acc な時間 | こいて任意記載 i.jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した か必を業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した なかを単位数 うち企業等と連携した ながまる。 なが、まずいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 ながいできないでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいできないできないできないできないできないできないできないできないできないできな | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 晋・実技 業時数 ((電・実技 位数 (事修学 (事修学 (事修学 | の授業時数 の授業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を検設置基準第41条第1項9 | 第1号) 第2号) 第3号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位 - | |
| 学校評価 当該学科のホージー 以RL と連携はした沢の は、 の属性 ((で記入) に記入) を記していて記していていていていていていていていていていていていていていていていて | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以 : www.o-hara.acc な時間 | こいて任意記載 i.jp/senmon/school 定) ち企業等と連携した ち必修授業時数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した か必を業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した ちか必修単位数 うち企業等と連携した なかを単位数 うち企業等と連携した ながまる。 なが、まずいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 なが、まがいでは、 ながいでは、 ながいできないでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいでは、 ながいできないできないできないできないできないできないできないできないできないできな | ol/kyoto/ に実験・実習・ た演習の授業時 を連携した必 をと連携した必 をと連携した必 をと連携した必 たインターン た後、学校等 したインターン | 実技の授業時数 修の実験・実 修の実験・実 をの演習の授業 をの実験・実 をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をのするで をいって にした。 | 晋・実技 業時数 ((電・実技 位数 (事修学 (事修学 (事修学 | の授業時数 の授業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を検設置基準第41条第1項9 | 第1号) 第2号) 第3号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位 - | |
| 学校評価 当該学科のホージー 以RL と連携はした沢の は、 の属性 ((で記入) に記入) を記していて記していていていていていていていていていていていていていていていていて | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えば以下に 評価団体: ww.o-hara.acc p時間による 総授業 ・ | こいて任意記載 Dipp/senmon/school 定 方企業等と連携した ち必修授業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うちを業等と連携した うちを業等と連携した うちを業等と連携した うちを主要等とは要素を うちなまます。 の教と当をを ないないます。 | ol/kyoto/ 上演習の授業時に大変を実際・実習・ 上演習の授業時に大変を表現したが、 上ででは、「はないできる。」 上ででは、「はないできる。」 上ででは、「はないできる。」 上ででは、「はないできる。」 上でできる。」 上でできる。」 上できる。」 上できる。」 上できる。」 上できる。」 上できる。」 上できる。」 上できる。」 | 実技の授業時数 修の実験・実授・実授の関係の実験・実授の単位数 修の実験・変形の実験・変形の実験をのの次のでは、 のままでは、 の | 習・実技 (事修学 (専修学 (専修学 (専修学 (専修学 (アン・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | の授業時数 の授業時数 の単位数 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を校設置基準第41条第1項9 を検設置基準第41条第1項9 | 第1号) 第2号) 第3号) 第4号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 2 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単位 - 単 位 - 単 位 - 単 位 - 単 4 人 | |
| 学校評価 当該学科のホームページ URL と実等等の実施がれか に記入) に記入) | ※有の場合 https://w (A:単位 | 、例えばは : www.o-hara.acc な時間 | こいて任意記載 Dipp/senmon/school 定 方企業等と連携した ち必修授業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携した うちを業等と連携した うちを業等と連携した うちを業等と連携した うちを主要等とは要素を うちなまます。 の教と当をを ないないます。 | ol/kyoto/ 三実験・実習・ に演習の授業時 を連携した必り たなする を主演習の数 を連携した必り たなする を主演習の数 を主演習の数 を主演習の数 を主演習の数 を主演習の数 を表示する になる になる になる になる になる になる になる に | 実技の授業時数 修の実験・実授・実授の関係の実験・実授の単位数 修の実験・変形の実験・変形の実験をのの次のでは、 のままでは、 の | 習・実技 (事修学 (専修学 (専修学 (専修学 (専修学 (アン・アン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | の授業時数 の単位数 や校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 校設置基準第41条第1項9 | 第1号) 第2号) 第3号) 第4号) | 0 単位時間 240 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 0 単位時間 240 単位 - | |

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ①卒業生の主な就業先である税理士事務所と連携して教育課程の編成を行うことにより、専門的かつ実践的な知識・技術を修得した即戦力となる人材を育成する。
- ②企業会計基準、会社法、各税法についての解釈論、改正動向の取り組みなど、教育課程編成委員会を通じて常に業界の最新の情報を反映させる。
- ③上記①、②により編成された授業科目、内容が実践・習得されているかどうか、教育課程編成委員による実践的視点で 評価を受け、課題を浮き彫りにする事で、教育の質の確保、ならびに更なる教育の質向上に活用する。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
- ①位置付けについて

教務部(課)の上位に教育課程編成委員会を設置し、企業等からの提言を参考に本校の教育課程編成について、協議策 定するための機関として位置付ける。

- ②意思決定の過程について
- (ア)学科の目的に基づき予め学内において、現状の課題等を明確にした上で、教育課程編成委員会に提言を求める。
- (イ)委員会では企業等からの意見を参考に次年度以降の教育課程編成に関する改善案を策定する。
- (ウ)教育課程編成委員に教育現場の責任者である校長、就職本部、教務部長(課長)が参加することで、企業等の委員から提示された課題、改善提案を速やかに次年度以降の教育課程(授業科目、内容、手法)の編成に反映させることができる。
- (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年8月1日現在

| 名 前 | 所 属 | 任期 | 種別 |
|-------|--------------------|----------------------------|----|
| 土肥 豊 | | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 3 |
| 柴 隆利 | | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 1 |
| 髙芝 徹 | 大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校 | _ | _ |
| 今西 智也 | 大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校 | _ | _ |
| 西島 貴之 | 大原簿記ビジネス公務員専門学校京都校 | _ | _ |

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 - ②学会や学術機関等の有識者
 - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (8月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年8月3日 16:20~17:20

第2回 令和5年11月16日 16:00~17:00

第1回 令和6年8月1日 16:20~17:20

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

各種の業務理解を高め、適切な処理を行えるようレジュメの作成やカリキュラムの改定を行う。また、知識を身に付けるだけでなく、より実践的な処理が行えるよう講義内容の追加等を行う予定である。

また、税理士・会計士学科の学生について、税理士および会計士試験は難関試験でもあるため、学習内容を拡大させるのではなく、学習に専念できるカリキュラムが望ましいとの意見をいただいており、早期の試験合格を見据えたカリキュラムを検討中である。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ①商業実務分野における実習・演習は、教育社会福祉分野、工業分野等の分野と異なり、企業等との連携の下、学内で行なわれる学習科目が多いことを考慮して、実習・演習の組立を行なう。
- ②企業等との連携による実習・演習を通じて、学生のより実践的な知識・思考・技術の修得と、社会人としての意識改革を 実現する。
- ③企業等から実習・演習の授業内容、手法に関して具体的な助言を仰ぎ、学生の知識・技術の修得状況に対して実践で活かせるレベルか否かを企業等の実務の視点から評価を受ける。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

税理士簿記論および会計士租税法の授業運営に関して企業等と協定書を締結、打合せを行い、下記の4点について講義 内容の質向上のために連携している。

- ①実習授業の内容構築に対するサポート
- ②当該実習授業における評価ポイントの確認
- ③授業方法に関する教員への指導
- ④学生の学修習熟状況の評価

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

| 科 目 名 | 企業連携の方法 | 科 目 概 要 | 連携企業等 |
|--------|-----------------------|---|------------|
| 税理士簿記論 | 5. その他※具体的な 連携方法を利日概要 | 所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義、演習 企業連携の方法としては教員研修を実施し、必要なスキルを修得 | 山口一雄税理士事務所 |
| 会計士租税法 | 3. ての他公共体的な | 実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義、演習企業連携の方法としては教員研修を実施し、必要なスキルを修得 | 山口一雄税理士事務所 |

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し、即戦力となる人材を育成するためには、常に教員一人ひとりが実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身に付けなければならない。

「大原学園教職員研修規定」の目的に定めるとおり、教職員が専攻分野に関する知識・技能・企画力・判断力等を高めるための環境を整備し、所属長の指示又は本人の意思により、研修等を公平に受講する機会を与えるものとする。

- ①教育課程編成委員会に参加する企業等から講師を派遣した実践的な知識・指導スキル研修
- ②大学教授等専門分野に特化した講師を招いた研修会の実施
- ③学内に設置される付帯教育講座を利用しての自己啓発
- ④京都府(関連団体等含む)主催の実践的な知識・指導スキル研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 電子帳簿保存法の概略について

期間: 令和5年10月14日(土) 対象: 会計系分野担当職員

内容 令和6年1月以降に施行される電子帳簿保存法について学び、実務上の適用内容について理解を深め、学生に対してフィードバックできることを目標とする

連携企業等: 近機税理士会 東淀川副支部長 報理士法人エム・アンド・アイ

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 退学防止に向けた意欲向上、基礎学力向上にむけて 連携企業等: - 般社団法人 卓都府専修学校各種学校協会

期間: 令和5年9月9日(土) 対象: 会計系分野担当職員

内容 多様化する専門学校生の傾向をふまえた「中退防止に向けた指導力と学力向上」

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 職業会計人の職業倫理について 連携企業等: 税理士法人エム・アンド・アイ

期間: 令和6年10月19日(土) 対象: 会計系分野担当職員

内容 研修により資格取得の先にある職業倫理観について税理士をモデルとして学び、指導にを行う際の知識と

^{*} する。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 中退防止に向けた指導力と学力向上 連携企業等:株式会社Weness

期間: 2024年9月14日(土) 9:00~12:10 対象: 会計系分野担当職員

内容 退学者を出さない基盤づくりのノウハウとして、理論的根拠と実践例を学ぶ 低学力者の実態把握と基礎学力向上に向けたアプローチ方法の習得する

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

当学園の教育理念は、学生に対して資格取得教育、実務教育を施し、人格の陶冶を行いもって有為な産業人を育成することである。この教育理念に基づき実践的な教育が実現出来ているか、また、その教育を実現するために必要な環境が整っているかについて、学校関係者評価委員会を設置して、以下に示す評価項目から評価する。課題の残る評価結果については、課長職以上の管理職によって改善計画を策定し、次年度以降の学校運営に反映させ改善を図る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

| (2)「専修字校における字校評価ガイドライン」の ガイドラインの評価項目 | 項目との対応 学校が設定する評価項目 |
|---|--|
| (1)教育理念•目標 | ①理念・目的・育成人物像は定められているか。 ②学校の特色はなにか。 ③学校の将来構想を抱いているか。 |
| (2)学校運営 | ①運営方針は定められているか。 ②事業計画は定められているか。 ③運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか。 ④人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか。 ⑤意思決定システムは確立されているか。 ⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 |
| (3)教育活動 | ①各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向づけられているか。 ②修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか。 ③カリキュラムは体系的に編成されているか。 ④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。 ⑤キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか。 ⑥授業評価の実施・評価体制はあるか。 ⑦育成目標に向け授業を行なう事ができる要件を整えた教員を確保しているか。 ⑧成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。 ⑨資格取得の指導体制はあるか。 |
| (4)学修成果 | ①就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか。 ②資格取得率の向上が図られているか。 ③退学率の低減が図られているか。 ④卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。 |

| れているか。 か。 れているか。 |
|-----------------------------|
| きるように整備されて いて十分な教育体制 |
| えられているか。 われているか。 |
| いえるか。 いるか。 るか。 |
| れているか。 れているか。 努めているか。 |
| 行なっているか。 か。 |
| |
| |

※(10)及び(11)については任意記載。 (3)学校関係者評価結果の活用状況

今年度の学校関係者評価委員会において、社会との関わりにつき多くの意見を頂戴した。コロナウイル感染症により、コ ミュニケーションの機会が減ったため、社会への適応が課題となってくる。学校生活において日々のマナー指導や報連相に つき、これまで以上に強く意識する必要性を認識した。学校行事やクラブ活動を通じて、社会適応能力を高める環境を積極 的に提供していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

| 名 前 | 所 属 | 任期 | 種別 |
|--------|-----------------|----------------------------|-------|
| 德元 利貴 | 株式会社Vaton | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 卒業生 |
| 土肥 豊 | 税理士法人メルクマール | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 卒業生 |
| 森本 貴之 | 木津屋橋武田病院 | 令和6年4月1日~令和8年3月 31日(2年) | 企業等委員 |
| 竹本 均 | 株式会社サップス | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 企業等委員 |
| 岩永 将広 | | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 企業等委員 |
| 久保田 征鑑 | 京都府行政書士会 | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 企業等委員 |
| 吉本 美枝 | 公益社団法人京都府歯科衛生士会 | 令和5年4月1日~令和7年3月 31日(2年) | 企業等委員 |

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/ 令和6年10月4日

URL: 公表時期:

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に 関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針
- ①実践的な職業教育における成果を広く周知することにより、入学希望者の適切な学習機会選択に資すること。そのために、学校関係者評価結果も含めて教育活動の状況や課題など学校全体に関する情報を分かりやすく示すこと。
- ②また、上記①により企業等との連携による教育活動改善を活発にし、社会全体の信頼に繋げていくこと。
- ③情報の公表を通じて学校の教育の質の確保と向上を図ることを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

| (2) 等 子校におりる情報提供等への収益に関 | 学校が設定する項目 |
|-------------------------|--|
| ガープラの奏目 | 于仅2000000000000000000000000000000000000 |
| (1)学校の概要、目標及び計画 | ①学校の概要 ②目標・方針・特色 ③所在地、連絡先 ④学校の沿革 |
| (2)各学科等の教育 | ①カリキュラム、時間割、目指す資格 ②検定、資格取得・検定試験合格実績 ③卒業生の進路 |
| (3)教職員 | 各学科の担当教員紹介 |
| (4)キャリア教育・実践的職業教育 | 各学科の実習紹介 |
| (5)様々な教育活動・教育環境 | ①学校行事 ②クラブ活動 |
| (6)学生の生活支援 | 学習や学校生活に対する不安解消(先輩の声) |
| (7)学生納付金·修学支援 | ①学生納付金 ②奨学金、学費減免等の紹介 |
| (8)学校の財務 | 学園の財務状況公開 |
| (9)学校評価 | 学校関係者評価結果 |
| (10)国際連携の状況 | 留学生の受入 |
| (11)その他 | - |

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ) · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/公表時期: 令和6年10月4日

授業科目等の概要

| | | (商業実務専門課程 税理士・会計士学科) | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|----------------------|----|----------------|---|---------|------|-----|---|----|----------|---|---|----|----|---------|
| | | 分類 | į | | | | | | 授 | 業フ | 5法 | 場 | 所 | 教 | 員 | |
| | | 選択必修 | 由選 | 授業科目名 | 授業科目概要 | 配当年次・学期 | 授業時数 | 単位数 | | 演習 | 実験・実習・実技 | | | 専任 | 兼任 | 企業等との連携 |
| 1 | 0 | | | 簿記入門 I | 株式会社における複式簿記の基本原理を学 ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 12 | 0 | | 0 | | |
| 2 | | | 0 | 2級商業簿記 基礎 I | 基本的な財務報告書類の作成方法・株式会 社会計の基礎を学ぶ | 1 前 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 3 | | | 0 | 2級工業簿記 基礎 I | 工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ | 1 前 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 4 | | | 0 | 2級簿記総合 I | 商企業および工企業の会計処理を問題演習 を通じて学び、本支店会計、連結会計、原 価計算の基礎も学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 5 | | | 0 | 1級会計学速 習基礎 | 会計基準および適用指針など実務に直結す る会計の基礎について短期間で学習し、問 題演習は各自で行うことを原則とする | 1 前 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 6 | | | 0 | 1級原価計算 速習基礎 | 伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする | 1 前 | 60 | 2 | 0 | Δ | | 0 | | 0 | | |
| 7 | | | 0 | 1級簿記速習 総合 | 大企業を前提とした会計制度を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 8 | | | 0 | 1級会計学入 門 I | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 9 | | | 0 | 1級原価計算 入門 I | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 10 | | | 0 | 2級商業簿記 基礎 Ⅱ | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 11 | | | 0 | 2級工業簿記 基礎Ⅱ | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | 0 | | | 0 | | 0 | | |
| 12 | | | 0 | 1級簿記速習 演習 | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | |

| 13 | 0 | 全経簿記上級 総合 I | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | ## | 4 | 4 | 0 | 0 | C | | |
|----|---|----------------|--|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 14 | 0 | 1級会計学基 礎 I | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | 0 | Δ | 0 | C |) | |
| 15 | 0 | 1級原価計算 基礎 I | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 90 | 3 | 0 | Δ | 0 | C | | |
| 16 | 0 | 2級商業簿記 応用 I | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 17 | 0 | 2級工業簿記 応用 I | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学 び現行基準との整合性、課題を学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 18 | 0 | 簿記論速習基 礎 I | 簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、 文章問題を解答する。 | 1 前 | 90 | 3 | 0 | | 0 | C |) | |
| 19 | 0 | 簿記論速習応 用 I | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 1 前 | ## | 4 | 0 | | 0 | C |) | |
| 20 | 0 | 簿記論速習総 合 I | 総合問題論点の入門知識及び論理的な思考 を基に、文章問題を解答する。 | 1 前 | 90 | 3 | | 0 | 0 | C | | |
| 21 | 0 | 簿記論速習総 合 Ⅱ | 問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する。 | 1 前 | 90 | 3 | | 0 | 0 | C | | |
| 22 | 0 | 簿記論入門 I | 簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理 的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 23 | 0 | 財務諸表論入 門 I | 会計学の概要入門を学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 24 | 0 | 消費税法入門 I | 売上取引を中心とした消費税の可否区分の 考え方を学習する。 | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 25 | 0 | 相続税法入門 I | 相続税および贈与税の概要入門を学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 26 | 0 | 法人税法入門 I | 法人税法の計算体系の理解を目的とする。 | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 27 | 0 | 消費税法速習 入門 I | 売上・仕入取引についての消費税の可否区 分の考え方を学習する。 | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |

| 28 | | 0 | 1級会計学総 合 I | 会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計について、より詳細に学ぶ | 1後 | 90 | 3 | | 0 | 0 | (|) | |
|----|---|---|----------------|--|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 29 | | 0 | 1級原価計算 総合 I | 会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計について、より詳細に学ぶ | 1 後 | 90 | 3 | | 0 | 0 | (| | |
| 30 | | 0 | 2級簿記総合 Ⅱ | 会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計について、より詳細に学ぶ | 1 後 | 90 | 3 | | 0 | 0 | (| | |
| 31 | (| 0 | 2級簿記総合 Ⅲ | 会計基準のみならず適用指針など実務に直 結する会計について、より詳細に学ぶ | 1後 | 90 | 3 | | 0 | 0 | (|) | |
| 32 | | 0 | 簿記論入門Ⅱ | 固定資産・有価証券の入門知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する。 | 1 後 | 90 | 3 | 0 | | 0 | (|) | |
| 33 | | 0 | 財務諸表論入 門 Ⅱ | 会計基準の入門概要を学ぶ | 1後 | 90 | 3 | 0 | | 0 | (| | |
| 34 | | 0 | 消費税法入門 Ⅱ | 控除税額を中心とした考え方を学習する。 | 1 後 | 90 | 3 | 0 | | 0 | (| | |
| 35 | | 0 | 相続税法入門 Ⅱ | 相続税、贈与税の入門的な問題の理解 | 1後 | 90 | 3 | 0 | | 0 | |) | |
| 36 | | 0 | 法人税法入門 Ⅱ | 貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税 法の体系を学ぶ。 | 1後 | 90 | 3 | 0 | | 0 | (|) | |
| 37 | | 0 | 消費税法速習 基礎 I | 仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供 を中心とした考え方を学習する。 | 1後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | |) | |
| 38 | | 0 | 簿記論基礎 I | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 1 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | (| | |
| 39 | | 0 | 財務諸表論基 礎 I | 金融商品取引法の概要入門を学ぶ | 1 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | (| | |
| 40 | (| 0 | 消費税法基礎 I | 納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特 例などの考え方を学習する。 | 1 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | (| | |
| 41 | (| 0 | 相続税法基礎 I | 相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文 章問題を解答する。 | 1 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | (| | |
| 42 | | 0 | 法人税法基礎 I | 役員判定、役員給与を中心とした法人税法 の体系を学ぶ。 | 1後 | ## | 4 | 0 | | 0 | (|) | |

| 43 | 0 | 簿記論基礎Ⅱ | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 1 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | С |) | |
|----|---|-------------------|--|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 44 | 0 | 財務諸表論基 礎Ⅱ | 会計学の入門・基礎を学ぶ | 1 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | С |) | |
| 45 | 0 | 全経簿記上級 総合 II | 大企業を前提とした会計制度を学習し、複 雑な会計処理をより詳細に学ぶ | 1 後 | ## | 4 | Δ | 0 | 0 | С |) | |
| 46 | 0 | 1級会計学入 門Ⅱ | これまでの学習を総括し、再度、基本的な 内容から確認し、基礎的な理論体系、現行 基準との整合性を確認する | 1 後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 47 | 0 | 1級原価計算 入門Ⅱ | これまでの学習を総括し、再度、基本的な 内容から確認し、工業簿記および原価計算 の関係性を学ぶ | 1 後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 48 | 0 | 消費税法速習 応用 I | 納税義務の有無の判定のや、仕入税額控除 の特例の考え方を学習する。 | 1 後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 49 | 0 | 財務会計論簿 記入門 I | 商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会 計処理を学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |
| 50 | 0 | 管理会計論入 門 I | 管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 51 | 0 | 財務会計論簿 記入門 Ⅱ | 現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知 識を学ぶ | 1 前 | 60 | 2 | 0 | 4 | 0 | С |) | |
| 52 | 0 | 財務会計論財 表入門 I | 財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |
| 53 | 0 | 管理会計論入 門 Ⅱ | 管理会計の概要を知り、原価計算制度の基 礎知識を学ぶ | 1 前 | 60 | 2 | 0 | 4 | 0 | С |) | |
| 54 | 0 | 企業法入門 I | 会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中 心とした基礎的な概念を学ぶ | 1 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 55 | 0 | 監査論入門 I | 監査手続きに関して、財務諸表監査に対す る基礎的な枠組みを学ぶ | 1 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |
| 56 | 0 | 財務会計論簿 記入門皿 | 基礎知識の定着度確認を目的とする演習 | 1 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 57 | 0 | 財務会計論簿 記入門演習 I | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う | 1 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | С |) | |

| 58 | | 0 | 管理会計論入 門演習 I | 問題演習を行うことで、原価計算制度の基 礎知識を定着させることを図る | 1 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | |
|----|---|---|-----------------|---|--------|----|---|---|---|---|---|--|
| 59 | | 0 | 短答式対策入 門総合 I | 模擬試験形式による効果測定 | 1 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | |
| 60 | | 0 | 企業法入門Ⅱ | 会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とし た基礎的な概念を学ぶ | 1 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | 0 | |
| 61 | | 0 | 監査論入門Ⅱ | 監査手続きに関して、監査実施論に対する 基礎的な枠組みを学ぶ | 1 後 | 30 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | |
| 62 | | 0 | 租税法入門Ⅰ | 法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学 ぶ | 1 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 63 | | 0 | 経営学入門 I | ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学 ぶ | 1 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 64 | | 0 | 租税法入門Ⅱ | 所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的 な計算を学ぶ | 1 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 65 | | 0 | 管理会計論基 礎演習 I | 計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、 管理会計の基礎知識を定着させることを図 る | 1 後 | 30 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | |
| 66 | | 0 | 財務会計論基 礎演習 I | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 1 後 | 60 | 2 | Δ | 0 | 0 | 0 | |
| 67 | (| 0 | 企業法基礎演 習 I | 簡易的な記述式問題により会社法に関する 正確な知識のインプットを図る演習 | 1 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | |
| 68 | (| 0 | 監査論基礎演 習 I | 監査制度に関する個別的な論点を基本的な 記述式問題を通じて定着させることを図る | 1 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | |
| 69 | (| 0 | 経営学基礎演 習 I | 簡易的な計算問題によりファイナンス分野 の知識のインプットを図る演習 | 1 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | |
| 70 | (| 0 | 租税法基礎演 習 I | 計算問題を中心に法人税法に関する重要論 点のインプットを図る演習 | 1 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | |
| 71 | | 0 | 財務会計論簿 記入門Ⅳ | 有価証券及び有形固定資産に関する初歩的 な会計処理を学ぶ | 1 後 | 90 | 3 | 0 | Δ | 0 | 0 | |
| 72 | | 0 | 財務会計論財 表入門 Ⅱ | 概要フレームワーク及び資産評価の基礎概 念を学ぶ | 1 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | 0 | |

| 73 | 0 | 管理会計論入 門皿 | 択一式の問題演習を通じながら、計算力の 向上や原価計算基準を学ぶ | 1後 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | С |) | |
|----|---|-------------------|---|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 74 | 0 | 企業法入門皿 | 会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関 設計や資金調達を中心とした基礎的な概念 を学ぶ | 1 後 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | С |) | |
| 75 | 0 | 監査論入門Ⅲ | 監査手続きに関して、監査報告論に対する 基礎的な枠組みを学ぶ | 1 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | С |) | |
| 76 | 0 | 会計士キャリ アデザイン I | 職種や業種について基本的学習を行いつつ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実務 におけるつながりを理解する | 1 通 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |
| 77 | 0 | 簿記論応用Ⅰ | 総合問題論点の入門知識及び論理的な思考 を基に、文章問題を解答する。 | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 78 | 0 | 財務諸表論応 用 I | 会社法の概要入門を学ぶ | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 79 | 0 | 消費税法応用 I | 軽減税率や複数税率などの考え方を学習す る。 | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 80 | 0 | 相続税法応用 I | 相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学 習をし、理解を深める | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | C |) | |
| 81 | 0 | 法人税法応用 I | 連結納税制度等の特殊項目の学習を進め る。 | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 82 | 0 | 簿記論総合 I | 問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する。 | 2 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | С |) | |
| 83 | 0 | 財務諸表論総合Ⅰ | 財務諸表作成の入門概要を学ぶ | 2 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | С |) | |
| 84 | 0 | 消費税法総合 I | 確定申告書の納付税額算出までの基本的な 流れを学ぶ | 2 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | С |) | |
| 85 | 0 | 相続税法総合 I | 相続税および贈与税の規定、申告について 総合的に学ぶ | 2 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | С |) | |
| 86 | 0 | 法人税法総合 I | 法人税法の計算体系の知識習得を目的とす る。 | 2 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | С |) | |
| 87 | 0 | 簿記論応用Ⅱ | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |

| | I | I | | | T | | | 1 | | <u> </u> | 1 | Т | |
|-----|---|---|----------------|--|--------|----|---|---|---|----------|---|---|--|
| 88 | | 0 | 財務諸表論応 用Ⅱ | 会社法の入門・基礎を学ぶ | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | С |) | |
| 89 | | 0 | 簿記論総合Ⅱ | 問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する。 | 2 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | С |) | |
| 90 | | 0 | 財務諸表論総 合 II | 財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ | 2 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | С |) | |
| 91 | | 0 | 簿記論速習基 礎Ⅱ | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 2 前 | ## | 4 | 0 | | 0 | С | | |
| 92 | | 0 | 簿記論速習応 用Ⅱ | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 2 前 | ## | 4 | 0 | | 0 | С |) | |
| 93 | | 0 | 簿記論速習総 合皿 | 問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する。 | 2 前 | ## | 4 | | 0 | 0 | С | | |
| 94 | | 0 | 簿記論速習総 合IV | 問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する。 | 2 前 | ## | 4 | | 0 | 0 | С |) | |
| 95 | | 0 | 2級商業簿記 基礎Ⅲ | 財務報告書類の作成方法・株式会社会計の 応用的な理解を学ぶ | 2 前 | ## | 4 | 0 | | 0 | С |) | |
| 96 | | 0 | 2級工業簿記 基礎Ⅲ | 工企業を前提とする会計処理の応用の理解 を学ぶ | 2 前 | ## | 4 | 0 | | 0 | С |) | |
| 97 | | 0 | 2級簿記総合 IV | 株式会社の会計処理を問題演習、総合問題 の演習を通じて学ぶ | 2 前 | ## | 4 | | 0 | 0 | С |) | |
| 98 | | 0 | 消費税法速習 総合 I | 確定申告書の納付税額算出までの基本的な 流れを学ぶ | 2 前 | 90 | 3 | | 0 | 0 | С |) | |
| 99 | | 0 | 簿記論入門皿 | 簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理 的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |
| 100 | | 0 | 財務諸表論入門皿 | 会計学の基礎を学ぶ | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |
| 101 | | 0 | 消費税法入門 Ⅲ | 売上取引を中心とした消費税の可否区分の 処理方法を学習する。 | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |
| 102 | | 0 | 相続税法入門 Ⅲ | 相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С |) | |

| | 1 1 | | | | | | | | 1 | | | | |
|-----|-----|-----------------|--|--------|----|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 103 | 0 | 法人税法入門 Ⅲ | 法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的 とする。 | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| Э | |
| 104 | 0 | 消費税法速習 入門 Ⅱ | 売上・仕入取引についての消費税の可否区 分の処理方法を学習する。 | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 105 | 0 | 簿記論基礎Ⅲ | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 2 後 | ## | 4 | 0 | | | 0 | (| Э | |
| 106 | 0 | 財務諸表論基 礎皿 | 会計基準の基礎を学ぶ | 2 後 | ## | 4 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 107 | 0 | 消費税法基礎 Ⅱ | 税額控除や納税義務の有無の判定を中心に 処理方法を学習する。 | 2 後 | ## | 4 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 108 | 0 | 相続税法基礎 Ⅱ | 相続税、贈与税の基礎的な問題の理解 | 2 後 | ## | 4 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 109 | 0 | 法人税法基礎Ⅱ | 欠損金の設定方法を中心とした法人税法の 体系を学ぶ。 | 2 後 | ## | 4 | 0 | | | 0 | (| Э | |
| 110 | 0 | 消費税法速習 基礎 Ⅱ | 仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供 を中心とした処理方法を学習する。 | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 111 | 0 | 簿記論基礎Ⅳ | 固定資産・有価証券の入門知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する。 | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 112 | 0 | 財務諸表論基 礎Ⅳ | 金融商品取引法の基礎を学ぶ | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 113 | 0 | 消費税法基礎 Ⅲ | 課税標準や簡易課税制度を中心とした処理 方法を学習する。 | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 114 | 0 | 相続税法基礎 Ⅲ | 相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文 章問題を解答する。 | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| 115 | 0 | 法人税法基礎 Ⅲ | 組織再編税制を中心とした法人税法の体系 を学ぶ。 | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (| Э | |
| 116 | 0 | 消費税法速習 応用 Ⅱ | 納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の 特例を中心とした処理方法を学習する。 | 2 後 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | (| Э | |
| 117 | 0 | 短答式対策入 門総合 Ⅱ | 模擬試験形式による効果測定 | 2 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | (| 2 | |

| 0 | 管理会計論応 用演習 I | 応用力を身に着けるために、計算問題と記 述式問題を織り交ぜた問題を解く | 2 前 | 30 | 1 | 4 | 0 | | 0 | 0 | | |
|---|-------------------|---|---|---------------------------------|-----------------------------------|---|--|--|--|---|----------|--|
| 0 | 財務会計論応用演習Ⅰ | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 2 前 | 60 | 2 | Δ | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 企業法応用演 習 I | 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記 述解答を図る演習 | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 監査論応用演 習 I | 解答の記述構成など監査制度に関する記述 レベルを引き上げ図る演習 | 2 前 | 30 | 1 | 4 | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 経営学応用演 習 I | ファイナンス分野の知識のインプット及び アウトプットカの向上を図る演習 | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 租税法応用演 習 I | 論理的な思考を用い法人税法に関する重要 論点のアウトプット力の向上を図る演習 | 2 前 | 30 | 1 | \triangleleft | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論簿 記入門 V | リース会計及びその他の資産並びに社債に 関する初歩的な会計処理を学ぶ | 2 前 | 60 | 2 | 0 | 4 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論財 表入門Ⅲ | 棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会 計処理に関する基礎概念を学ぶ | 2 前 | 30 | 1 | 0 | \triangleleft | | 0 | 0 | | |
| 0 | 管理会計論入 門IV | 問題演習を通じながら、計算力の向上とと もに原価計算基準の知識の定着を図る | 2 前 | 60 | 2 | 0 | \triangleleft | | 0 | 0 | | |
| 0 | 企業法入門Ⅳ | | 2 前 | 30 | 1 | 0 | 4 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 監査論入門Ⅳ | 監査手続きに関して、継続企業及び公認会 計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ | 2 前 | 30 | 1 | 0 | ◁ | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論簿 記計算特訓 I | 退職給付会計及び資産除去債務に関する基 礎的な会計処理を学ぶ | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 管理会計論計 算特訓 I | 入門講義で学習した知識を基に、計算力の 向上を図る | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論簿 記入門演習 Ⅱ | 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 を行う | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 管理会計論入 門演習Ⅱ | 基礎的な総合問題を解くことで、管理会計 の構造を理解する | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | 0 | | |
| | | ○ □ | □ 用演習 I 述式問題を繰り交ぜた問題を解く □ 財務会計論応 期演習 I 数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う □ 企業法応用演 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習 I 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習 I アイナンス分野の知識のインブット及びアウトブットカの向上を図る演習 I ファイナンス分野の知識のインブット及びアウトブットカの向上を図る演習 I リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ リース会計及びその他の資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ | □ 財務会計論応 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 2 前 | ○ 財務会計論応 期演習 I | ○ 財務会計論応 別学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う ○ 企業法応用演 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習 I | □ 財務会計論に 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 2 前 2 □ 60 2 □ 企業法応用演 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記 2 前 30 1 □ 企業法応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 30 1 □ ○ 監査論応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 30 1 □ ○ 監査論応用演 アナイナンス分野の知識のインブット及び 2 前 30 1 □ ○ 超税法応用演 論理的な思考を用い法人税法に関する重要 2 前 30 1 □ ○ 財務会計論 | ○ 財務会計論応 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 2 前 60 2 △ ○ 企業法応用演 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記 2 前 30 1 △ ○ 監査論応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 30 1 △ ○ 監査論応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 30 1 △ ○ 経営学応用演 ファイナンス分野の知識のインプット及び 2 前 30 1 △ ○ 租税法応用演 論理的な思考を用い法人税法に関する重要 2 前 30 1 △ ○ 財務会計論 期 棚卸資産及び固定資産並びに経延資産の会 前 30 1 △ ○ 財務会計論 期 棚卸資産及び固定資産並びに経延資産の会 前 30 1 ○ △ ○ 財務会計論 期 棚卸資産及の関連のを受診 2 前 30 1 ○ △ ○ 財務会計論 | □ 財務会計論応 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 2 前 60 2 △ ○ □ 企業法応用演 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記 2 前 30 1 △ ○ □ 企業法応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 30 1 △ ○ □ 監査論応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 30 1 △ ○ □ 経営学応用演 ファイナンス分野の知識のインブット及び 2 前 30 1 △ ○ □ 経営学応用演 温期的な思考を用い法人税法に関する重要 2 前 30 1 △ ○ □ 財務会計論率 リース会計及びその他の資産並びに社債に 2 前 60 2 ○ △ □ 財務会計論率 期が資産及び固定資産並びに経延資産の会 2 前 30 1 ○ △ □ □ 財務会計論 財 棚卸資産及び固定資産並びに経延資産の会 2 前 30 1 ○ △ □ □ □ 財務会計論 財 棚卸資産及が協定資産並びに経過を挙述 □ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | □ 財務会計論応 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 2 前 60 2 △ ○ ○ ○ ○ 企業法応用演 出題の意図に沿った会社法分野の正確な記 2 前 1 △ ○ ○ ○ 企業法応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 1 △ ○ ○ ○ 配査論応用演 解答の記述構成など監査制度に関する記述 2 前 1 △ ○ ○ ○ 経営学応用演 アワイナンス分野の知識のインブット及び 2 前 1 △ ○ ○ ○ 経営学応用演 アワイナンス分野の知識のインブット及び 2 前 1 △ ○ ○ ○ 日報光法応用演 論理的な思考を用い法人税法に関する重要 前 前 1 △ ○ ○ ○ 日報光法応用演 論連のアウトブットカの向上を図る演習 「 ○ 財務会計論簿 リース会計及びその他の資産並びに程値に 2 前 0 2 ○ △ ○ ○ 財務会計論財 棚創資産及び固定資産並びに繰延資産の会 2 前 1 ○ △ ○ ○ ○ 財務会計論財 棚創資産及び固定資産並びに繰延資産の会 2 前 0 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | □ 財務会計論応 | □ 財務会計論応 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 2 60 2 △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |

| |) | 管理会計論直 前演習 I | 問題演習を通じながら、論理的な思考力と 文章表現力を磨く | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | С | 1 | |
|---|---|------------------|---|---|----------------------------------|---|--|---|--|--|---|---|---|
| |) | 財務会計論直 前演習 I | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 2 前 | 60 | 2 | Δ | 0 | | 0 | С | • | |
| |) | 企業法直前演 習 I | 会社法の横断的に係わる規定から出題され る問題へのアプローチ方法を習得する演習 | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | С | 1 | |
| |) | 監査論直前演 習 I | 監査制度に関する応用的な知識を事例を用 いて記述式で問題解答を行う | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | С | 1 | |
| |) | 経営学直前演 習 I | ファイナンス分野の知識のアウトプットカ の向上を図る演習 | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | С | 1 | |
| |) | 租税法直前演 習 I | 出題予想に基づく法人税法に関する試験独 特の知識のインプットを図る演習 | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | С | 1 | |
| |) | 論文式対策総 合 I | 模擬試験形式による総合問題の効果測定 | 2 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | | 0 | С | 1 | |
| |) | 財務会計論簿 記基礎 I | 純資産会計及び法人税に関する基礎的な知 識を学ぶ | 2 前 | 60 | 2 | 0 | \triangleleft | | 0 | С | 1 | |
| |) | 財務会計論財 表基礎 I | 負債会計及び純資産会計に関する基礎概念 を学ぶ | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | С | 1 | |
| |) | 管理会計論基 礎 Ⅰ | 基本的な用語や諸概念を理解するととも に、原価計算の一連の計算手続を理解する | 2 前 | 60 | 2 | 0 | 4 | | 0 | С | 1 | |
| |) | 企業法基礎 [| 会社法を中心とした、会社の設立や株式に 関する知識を学ぶ | 2 前 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | С | 1 | |
| |) | 監査論基礎Ⅰ | 監査制度や監査の進め方に関して、財務諸 表監査及び監査実施論についての基礎知識 を学ぶ | 2 前 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | С | 1 | |
| C |) | 財務会計論簿 記入門演習Ⅲ | 数学的な思考を用い、計算総合問題の解答 を行う | 2 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | | |
| C |) | 管理会計論入 門演習Ⅲ | 管理会計の構造を意識しながら、総合問題 を解くことで知識の定着を図る | 2 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | | |
| |) | 企業法基礎Ⅱ | 会社法を中心とした、株式会社の機関に関 する知識を学ぶ | 2 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | | 0 | С | | |
| | | | □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | □ 対務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う □ 企業法直前演 会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習 □ 監査論直前演 監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う □ 経営学直前演 ファイナンス分野の知識のアウトブットカの向上を図る演習 □ 租税法直前演 出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインブットを図る演習 □ 財務会計論簿 純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を挙ぶ □ 財務会計論財 負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ □ 財務会計論基 基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解すると、原価計算の一連の計算手続を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解すると、数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を対しての基礎知識を学ぶ □ 財務会計論算 数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を解くことで知識の定着を図る | □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 | □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 前演習 I 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 30 企業法直前演 会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習 30 監査論直前演 監査制度に関する応用的な知識を事例を用 2 前 30 経営学直前演 ファイナンス分野の知識のアウトプットカ 2 前 30 租稅法直前演 出題予想に基づく法人稅法に関する試験独 2 前 30 部文式対策総 模擬試験形式による総合問題の効果測定 2 前 30 財務会計論財 負債会計及び純資産会計に関する基礎概念 2 前 記基礎 I 会社法を中心とした、会社の設立や株式に 2 前 企業法基礎 I 会社法を中心とした、会社の設立や株式に 2 前 監査論基礎 I 会社法を中心とした、会社の設立や株式に 2 前 50 股務会計論簿 数学的な思考を用い、計算総合問題の解答 2 前 30 財務会計論簿 数学的な思考を用い、計算総合問題の解答 2 前 30 下環会計論法 表監查及び監査実施論についての基礎知識 2 前 30 下環会計論法 表監查及び監査実施論についての基礎知識 2 前 30 下環会計論法 数学的な思考を用い、計算総合問題の解答 2 前 30 下環会計論分 数学的な思考を用い、計算総合問題の解答 2 前 30 下環会計論分 数学的な思考を用い、計算総合問題の解答 2 前 30 下環会計論分 管理会計論分 管理会計の構造を意識しながら、総合問題 2 前 会社法を叫 会社法を中心とした、株式会社の機関に関 2 30 全業法基礎 第 会社法を中心とした、株式会社の機関に関 2 30 全業法基礎 第 会社法を中心とした、株式会社の機関に関 2 30 全 2 前 会社法を申心とした、株式会社の機関に関 2 30 全 2 前 会社法を中心とした、株式会社の機関に関 2 30 全 2 前 30 全 3 前 30 和 30 全 3 前 30 和 | □ 財務会計論値 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 60 2 の 企業法直前演 会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習 30 1 回答 監査論直前演 監査制度に関する応用的な知識を事例を用 2 前 30 1 回答 2 管学直前演 ファイナンス分野の知識のアウトプットカ 2 前 30 1 回移 2 前 2 前 30 1 回移 3 回 3 回 3 回 4 回移 3 回 4 回移 4 回 4 回 4 回 4 回 4 回 4 回 4 回 4 回 | □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 2 □ 0 2 □ 企業法直前演 会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習 2 前 1 □ 監査論直前演 監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う 2 前 1 □ 2 記者論直前演 習 I ファイナンス分野の知識のアウトブットカの向上を図る演習 2 前 1 □ 2 和稅法直前演 出題予想に基づく法人稅法に関する試験独有の知識のインブットを図る演習 4 位 2 前 2 前 3 1 □ 2 前 3 1 □ 2 前 3 1 □ 3 | □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 60 2 △ □ 企業法直前演 会社法の横断的に係わる規定から出題され 2 前 30 1 △ □ 監査論直前演 監査制度に関する応用的な知識を事例を用 2 前 30 1 △ □ 監査論直前演 | □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 0 2 △ ○ □ 中来法直前演 会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習 2 前 1 △ ○ □ 監査論直前演 監査制度に関する応用的な知識を事例を用 2 前 1 △ ○ □ 監査論直前演 コティナンス分野の知識のアウトブットカ 2 前 1 △ ○ □ 日報 1 □ 日報 2 □ 1 □ ○ 経営学直前演 コティナンス分野の知識のアウトブットカ 2 前 1 △ ○ □ 日報 2 □ 日報 2 □ 1 □ ○ 日報 3 □ 1 △ ○ □ 日報 3 □ 1 △ ○ □ 日報 4 □ 日報 5 | □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 2 前 60 2 △ ○ ○ ○ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | ○ 財務会計論直 前演習 I 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う 2 前の 2 前の 2 2 1 0 0 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | ○ 財務会計論直 前演習 I 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う 2 60 2 △ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |

| 148 | | 0 | 監査論基礎Ⅱ | 監査制度や監査の進め方に関して、具体的 な監査技術についての基礎知識を学ぶ | 2 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | C |) | |
|-----|---|---|-------------------|---|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 149 | (| 0 | 財務会計論簿 記基礎Ⅱ | 基礎知識の定着度確認を目的とする演習 | 2 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 150 | | 0 | 財務会計論簿 記上級演習 I | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う | 2 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | С | | |
| 151 | | 0 | 管理会計論上 級演習 I | 問題演習を行うことで、原価計算制度の知 識を定着させる | 2 後 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | C |) | |
| 152 | | 0 | 短答式対策上 級総合 I | 模擬試験形式による効果測定 | 2 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 153 | | 0 | 租税法基礎 I | 計算項目を理論的側面から捉える | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C |) | |
| 154 | | 0 | 経営学基礎 I | 組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 155 | | 0 | 租税法基礎Ⅱ | 計算項目を理論的側面から捉える | 2 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С | | |
| 156 | | 0 | 管理会計論基 礎演習Ⅱ | 計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、 管理会計論の典型論点を中心に理解を深め る | 2 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 157 | | 0 | 財務会計論基 礎演習 Ⅱ | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 2 後 | 60 | 2 | | 0 | 0 | С | | |
| 158 | (| 0 | 企業法基礎演 習Ⅱ | 簡易的な記述式問題により商法に関する正 確な知識のインプットを図る演習 | 2 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 159 | | 0 | 監査論基礎演 習Ⅱ | 監査実施論に関する個別的な論点を基本的 な記述式問題を通じて定着させる | 2 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 160 | (| 0 | 経営学基礎演 習Ⅱ | 簡易的な記述式問題により組織論に関する 知識のインプットを図る演習 | 2 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 161 | (| 0 | 租税法基礎演 習Ⅱ | 計算問題を中心に所得税法に関する重要論 点のインプットを図る演習 | 2 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 162 | (| 0 | 財務会計論簿 記基礎皿 | 連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ | 2 後 | 90 | 3 | 0 | Δ | 0 | С | | |

| | | | _ | | | | | | | | | | _ | |
|-----|---|-------------|---|------------------|---|--------|----|---|---|-----------------|---|------|---|---|
| 163 | | C |) | 財務会計論財 表基礎 Ⅱ | 財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念 を学ぶ | 2 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | 0 | | |
| 164 | | C |) | 管理会計論基 礎Ⅱ | 原価計算システムを通じて提供される原価 情報が企業経営においてどのように役立つ のかを理解する | 2 後 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | 0 | | |
| 165 | | C |) | 企業法基礎Ⅲ | 会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ | 2 後 | 60 | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | | |
| 166 | | C |) | 監査論基礎Ⅲ | 監査制度や監査の進め方に関して、具体的 な監査計画についての基礎知識を学ぶ | 2 後 | 30 | 1 | 0 | \triangleleft | 0 | 0 | | |
| 167 | | C |) | 税理士簿記論 | 所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解 し、特に年末調整事務を行うために必要な 知識を習得する講義、演習。 | 2 後 | 60 | 2 | Δ | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 168 | | C |) | 会計士租税法 | 実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類について の知識を習得するための講義、演習。 | 2 後 | 60 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 169 | | C | | 会計士キャリ アデザインⅡ | オフィスツアーなども行いながら、会計・ 監査の実務家から実務的に必要な知識を学 ぶ | 2 通 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | | |
| 170 | 0 | | | 一般教養 I | 会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習 | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 171 | | C |) | ビジネス教養 I | 会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習 | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 172 | | C |) | キャリアデザ イン I | 会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習 | 1 通 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 173 | | C |) | 一般教養Ⅱ | 会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習 | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 174 | | C | | ビジネス教養 Ⅱ | 会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習 | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 175 | | C | | キャリアデザ イン Ⅱ | 会社などの組織を理解し、最低限身につけ なければならないスキルの学習 | 2 通 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | | |
| 176 | | C |) | 簿記論応用Ⅲ | 総合問題論点の基礎知識及び論理的な思考 を基に、文章問題を解答する。 | 3 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | | |
| 177 | | C | | 財務諸表論応 用Ⅲ | 会社法の基礎を学ぶ | 3 前 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | 0 | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|----------------|---|--------|----|---|---|---|------|---|---|--|
| 178 | 0 | 消費税法応用 Ⅱ | 軽減税率や複数税率などを中心とした処理 方法を学習する。 | 3 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | , | |
| 179 | 0 | 相続税法応用 | 相続税、贈与税の応用的な理論的思考も学 習をし、理解を深める | 3 前 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | O | , | |
| 180 | 0 | 法人税法応用 | 試験研究費等の特殊項目の学習を進める。 | 3 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | C | , | |
| 181 | 0 | 簿記論総合Ⅲ | 問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する。 | 3 前 | ## | 6 | 0 | | 0 | C | , | |
| 182 | 0 | 財務諸表論総 合皿 | 財務諸表作成の基礎を学ぶ | 3 前 | ## | 6 | 0 | Δ | 0 | C | 1 | |
| 183 | 0 | 消費税法総合 Ⅱ | 確定申告書の納付(還付)税額算出までの 流れを学ぶ。 | 3 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | O | , | |
| 184 | 0 | 相続税法総合 Ⅱ | 相続税および贈与税の規定、申告について 総合的・応用的に学ぶ | 3 前 | ## | 6 | 0 | Δ | 0 | C | 1 | |
| 185 | 0 | 法人税法総合Ⅱ | 法人税法の計算技術習得を目的とする。 | 3 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | C | , | |
| 186 | 0 | 消費税法速習 総合 Ⅱ | 確定申告書の納付(還付)税額算出までの 流れを学ぶ。 | 3 前 | 90 | 3 | | 0 | 0 | O | , | |
| 187 | 0 | 簿記論入門Ⅳ | 簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理 的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 3 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | O | • | |
| 188 | 0 | 財務諸表論入 門Ⅳ | 会計学の応用を学ぶ | 3 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | O | • | |
| 189 | 0 | 消費税法入門 IV | 売上取引を中心とした消費税の可否区分の 計算を学習する。 | 3 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | O | • | |
| 190 | 0 | 相続税法入門 IV | 相続税および贈与税の概要応用を学ぶ | 3 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | O | | |
| 191 | 0 | 法人税法入門 IV | 法人税の計算方法の理解を目的とする。 | 3 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | O | | |
| 192 | 0 | 消費税法速習 入門皿 | 売上・仕入取引についての消費税の可否区 分の計算方法を学習する。 | 3 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | O | | |

| 193 | C |) | 簿記論基礎Ⅵ | 固定資産・有価証券の入門知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する。 | 3後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | (| 0 | |
|-----|---|---|-----------------|---|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 194 | С | | 財務諸表論基 礎Ⅵ | 金融商品取引法の応用を学ぶ | 3 後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 195 | С | | 消費税法基礎 Ⅳ | 控除税額を中心とした計算方法を学習す る。 | 3 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 196 | С | | 相続税法基礎 Ⅳ | 相続税、贈与税の応用的な問題の理解 | 3 後 | ## | 4 | 0 | 4 | 0 | | 0 | |
| 197 | С |) | 法人税法基礎 Ⅳ | 外貨建取引を中心とした法人税の体系を学 ぶ。 | 3 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | • | 0 | |
| 198 | С |) | 消費税法速習 基礎Ⅲ | 仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供 を中心とした計算方法を学習する。 | 3後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | • | 0 | |
| 199 | С |) | 簿記論基礎V | 特殊商品売買・金融商品の知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する。 | 3 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 200 | C |) | 財務諸表論基 礎V | 会計基準の応用を学ぶ | 3 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 201 | С | | 消費税法基礎 V | 納税義務判定の特例や簡易課税制度を中心 とした計算方法を学習する。 | 3 後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 202 | С | | 相続税法基礎 V | 相続税、贈与税の応用的な知識を網羅し文 章問題を解答する。 | 3 後 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | | 0 | |
| 203 | С | | 法人税法基礎 Ⅴ | 適用除外事業者を中心とした法人税法の体 系を学ぶ。 | 3後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | | 0 | |
| 204 | С | | 消費税法速習 応用皿 | 納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の 特例を中心とした計算方法を学習する。 | 3後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | • | 0 | |
| 205 | С |) | 短答式対策上 級総合 Ⅱ | 模擬試験形式による効果測定 | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | | 0 | |
| 206 | С |) | 管理会計論応 用演習Ⅱ | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | | 0 | |
| 207 | С |) | 財務会計論応 用演習 Ⅱ | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 前 | 60 | 2 | | 0 | 0 | | 0 | |

| 208 | 0 | 企業法応用演 習 Ⅱ | 例外的な規定の適用範囲を含む応用的な問 題演習 | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
|-----|---|------------------|-------------------------------------|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 209 | 0 | 監査論応用演 習Ⅱ | 例外的な規定の適用範囲を含む応用的な問 題演習 | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 210 | 0 | 経営学応用演 習 II | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 211 | 0 | 租税法応用演 習Ⅱ | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 212 | 0 | 財務会計論簿 記基礎Ⅳ | 税効果会計及び外貨建会計に関する基礎的 な会計処理を学ぶ | 3 前 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | С |) | |
| 213 | 0 | 財務会計論財 表基礎皿 | 誤謬基準及び金融商品会計基準に関する基 礎概念を学ぶ | 3 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | С | | |
| 214 | 0 | 管理会計論基 礎Ⅲ | 管理会計の発展を時代の変化とともに学ぶ | 3 前 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | С |) | |
| 215 | 0 | 企業法基礎Ⅳ | 会社法を中心とした、計算書類、定款に関 する知識を学ぶ | 3 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | С |) | |
| 216 | 0 | 監査論基礎Ⅳ | 監査制度や監査の進め方に関する基礎知識 を学ぶ | 3 前 | 30 | 1 | 0 | 4 | 0 | C |) | |
| 217 | 0 | 財務会計論簿 記計算特訓Ⅱ | 包括利益及び在外子会社に関する応用的な 会計処理を学ぶ | 3 前 | 30 | 1 | ◁ | 0 | 0 | С |) | |
| 218 | 0 | 管理会計論計 算特訓Ⅱ | 基礎講義で学習した知識を基に、計算力の 向上を目的とする | 3前 | 30 | 1 | ◁ | 0 | 0 | С |) | |
| 219 | 0 | 財務会計論簿 記上級演習Ⅱ | 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 を行う | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 220 | 0 | 管理会計論上 級演習Ⅱ | 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 を行う | 3 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 221 | 0 | 管理会計論直 前演習Ⅱ | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 222 | 0 | 財務会計論直 前演習 Ⅱ | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 3後 | 60 | 2 | | 0 | 0 | С |) | |

| | - | | | | | | | | | | | |
|---|------------------|---|--|----|-----------------------|--|-----|---|---|---|---|---|
| 0 | 企業法直前演 習 Ⅱ | 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 する解答も含む総合演習 | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 監査論直前演 習Ⅱ | 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 する解答も含む総合演習 | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 経営学直前演 習 II | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 租税法直前演 習Ⅱ | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 論文式対策総 合Ⅱ | 模擬試験形式による総合問題の効果測定 | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論簿 記上級 I | 連結会計及びセグメント情報に関する応用 的な知識を学ぶ | 3 後 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論財 表上級 I | ストック・オプション及びリース並びに退 職給付に関する基礎及び応用概念を学ぶ | 3 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 0 | 管理会計論上 級 I | 財務会計との相違に着目し、より詳細な管 理会計を学ぶ | 3 後 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 0 | 企業法上級I | 会社法上の主要な課題について学習する。 また、商法総則、商行為法及び金融商品取 引法なども学習する | 3 後 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 0 | 監査論上級 I | 財務諸表の監査証明業務に関して、その制 度や手続きについて、理論的裏付けも含め て学ぶ | 3 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論簿 記上級演習皿 | 数学的・論理的な思考を用い、計算総合問 題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 管理会計論上 級演習Ⅲ | 数学的・論理的な思考を基に、計算総合問 題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| 0 | 企業法上級Ⅱ | 会社法上の主要な課題について学習する。 また、商法総則、商行為法及び金融商品取 引法も学習する | 3 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | | 0 | 0 | | |
| 0 | 監査論上級Ⅱ | | 3 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | | 0 | 0 | | |
| 0 | 財務会計論簿 記上級Ⅱ | 基礎知識の定着度確認を目的とする演習 | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | 0 | | |
| | | DOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO | □ 監査論直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対する解答も含む総合演習 規定に関する解答も含む総合演習 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う □ 租税法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う □ 離文式対策総 | 図 | □ 図Ⅱ する解答も含む総合演習 後 30 | □ 図面 する解答も含む総合演習 後 30 1 □ 監査論直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 3 30 1 □ 経営学直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 □ 租税法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 □ 租税法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 □ 租税法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 □ 財務会計論簿 連結会計及びセグメント情報に関する応用 3 60 2 □ 財務会計論財 ストック・オプション及びリース並びに退 3 後 30 1 □ 財務会計論財 ストック・オプション及びリース並びに退 3 後 30 1 □ 財務会計論財 表上級Ⅰ 財務会計との相違に着目し、より詳細な管 3 後 60 2 □ 企業法上級Ⅰ 財務会計との相違に着目し、より詳細な管 3 後 60 2 □ 企業法上級Ⅰ 財務諸表の監査証明業務に関して、その制 3 後 60 2 □ 財務会計論簿 数学的・論理的な思考を用い、計算総合問 3 30 1 □ 財務会計論簿 数学的・論理的な思考を用い、計算総合問 3 30 1 □ 財務会計論方 数学的・論理的な思考を担い、計算総合問 3 30 1 □ 財務会計論方 数学的・論理のな思考を担い、計算総合問 3 後 30 1 □ 財務会計論方 数学的・論理のな思考を担い、計算総合問 3 30 1 □ 財務会計論方 数学的・論理的な思考を担い、計算総合問 3 30 1 | 回り、 | □ | □ 習Ⅱ する解答も含む総合演習 後 30 1 □ ○ 監査論直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 3 30 1 □ ○ 経営学直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 □ ○ 租税法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 □ ○ 協文式対策総 合 II □ 財務会計論簿 連結会計及びセグメント情報に関する応用 3 60 2 ○ 財務会計論財 表上級 I 〒 1 日本のおりな知識を学ぶ 3 30 1 □ ○ 財務会計論財 表上級 I 財務会計との相違に着目し、より詳細な管 3 60 2 ○ □ 中華 1 2 2 2 3 3 30 1 ○ □ □ 1 3 30 1 ○ | □ 図Ⅱ する解答も含む総合演習 後 30 1 ○ ○ ○ ○ 監査論直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 3 30 1 ○ ○ ○ ○ 経営学直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 ○ ○ ○ ○ 和税法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 3 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | □ 図Ⅱ する解答も含む総合演習 後 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | □ 図Ⅱ する解答も含む総合演習 後 30 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 |

| | | | 1 | | | | | | | 1 | | | _ | |
|-----|---|---|------------------|--|--------|----|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 238 | | 0 | 財務会計論簿 記上級演習Ⅳ | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С |) | |
| 239 | (| 0 | 管理会計論上 級演習Ⅳ | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | | |
| 240 | | 0 | 短答式対策上 級総合皿 | 模擬試験形式による効果測定 | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | | |
| 241 | (| 0 | 租税法上級Ⅰ | 他規定との関係性を学ぶ | 3 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | С | 1 | |
| 242 | | 0 | 経営学上級Ⅰ | 戦略的を中心に時代に沿って経営学を学ぶ | 3 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | С | 1 | |
| 243 | | 0 | 租税法上級Ⅱ | 他規定との関係性を学ぶ | 3 後 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | С | | |
| 244 | | 0 | 管理会計論基 礎演習Ⅲ | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | | |
| 245 | | 0 | 財務会計論基 礎演習Ⅲ | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 後 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | С | 1 | |
| 246 | | 0 | 企業法基礎演 習Ⅲ | 各規程の適用条件・範囲を正確に理解する ことを目的とする演習 | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | 1 | |
| 247 | | 0 | 監査論基礎演 習Ⅲ | 各規程の適用条件・範囲を正確に理解する ことを目的とする演習 | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | • | |
| 248 | | 0 | 経営学基礎演 習Ⅲ | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | • | |
| 249 | | 0 | 租税法基礎演 習Ⅲ | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 3 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | С | • | |
| 250 | (| 0 | 財務会計論簿 記上級皿 | 企業結合及び事業分離に関する応用的な会 計処理を学ぶ | 3 後 | 90 | 3 | 0 | Δ | | 0 | С | | |
| 251 | (| 0 | 財務会計論財 表上級 Ⅱ | 研究開発費及び減損会計並びに税効果会計 に関する基礎及び応用概念を学ぶ | 3 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | | 0 | С | | |
| 252 | (| 0 | 管理会計論上 級Ⅱ | 財務会計との相違に着目し、より詳細な管 理会計を学ぶ | 3 後 | 60 | 2 | 0 | Δ | | 0 | С | | |

| 253 | 0 | 企業法上級Ⅲ | 会社法上の主要な課題について学習する。 また、商法総則、商行為法及び金融商品取 引法も学習する | 3後 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | 0 | |
|-----|---|---------------|---|--------|----|---|---|-----------------|---|---|--|
| 254 | 0 | 監査論上級Ⅲ | 財務諸表の監査証明業務に関して、その制 度や手続きについて、理論的裏付けも含め て学ぶ | 3 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | 0 | |
| 255 | 0 | 簿記論応用IV | 総合問題論点の応用知識及び論理的な思考 を基に、文章問題を解答する。 | 4 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | |
| 256 | 0 | 財務諸表論応 用IV | 会社法の応用を学ぶ | 4 前 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | 0 | |
| 257 | 0 | 消費税法応用 Ⅲ | 軽減税率や複数税率などの計算方法および 税法理論を学習する。 | 4 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | |
| 258 | 0 | 相続税法応用 皿 | 相続税、贈与税の実践的な理論的思考も学 習をし、理解を深める | 4 前 | 60 | 2 | 0 | Δ | 0 | 0 | |
| 259 | 0 | 法人税法応用 | 解散税制等の特殊項目の学習を進める。 | 4 前 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 | |
| 260 | 0 | 簿記論総合IV | 問題演習により効率的な得点ができるよう に、問題を解答する。 | 4 前 | ## | 6 | 0 | | 0 | 0 | |
| 261 | 0 | 財務諸表論総 合IV | 財務諸表作成の応用を学ぶ | 4 前 | ## | 6 | 0 | 4 | 0 | 0 | |
| 262 | 0 | 消費税法総合 Ⅲ | 納税義務判定を含む確定申告書の納付(還 付)税額算出までの流れを学ぶ。 | 4 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | 0 | |
| 263 | 0 | 相続税法総合 Ⅲ | 相続税および贈与税の規定、申告について 総合的・実践的に学ぶ | 4 前 | ## | 6 | 0 | \triangleleft | 0 | 0 | |
| 264 | 0 | 法人税法総合 Ⅲ | 法人税法に基づいた計算技術取得を目的と した対策を行う。 | 4 前 | ## | 6 | | 0 | 0 | 0 | |
| 265 | 0 | 消費税法速習 総合Ⅲ | 納税義務判定を含む確定申告書の納付(還 付)税額算出までの流れを学ぶ。 | 4 前 | 90 | 3 | | 0 | 0 | 0 | |
| 266 | 0 | 簿記論入門Ⅴ | 簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理 的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 4 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | 0 | |
| 267 | 0 | 財務諸表論入 門V | 会計学の実践を学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | 0 | |

| | 1 1 | T | | T . | | | | | | <u> </u> | 1 | 1 |
|-----|-----|----------------|--|--------|----|---|---|---|---|----------|---|---|
| 268 | 0 | 消費税法入門 V | 売上取引を中心とした消費税の可否区分の 税法理論を学習する。 | 4 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 269 | 0 | 相続税法入門 V | 相続税および贈与税の概要実践を学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | C | | |
| 270 | 0 | 法人税法入門 V | 法人税法の計算方法の理解を目的として実 践的な知識を学ぶ。 | 4 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 271 | 0 | 消費税法速習 入門Ⅳ | 売上・仕入取引についての消費税の可否区 分の税法理論を学習する。 | 4 前 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 272 | 0 | 簿記論基礎Ⅷ | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論 理的な思考を基に、文章問題を解答する。 | 4 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | C | | |
| 273 | 0 | 財務諸表論基 礎Ⅷ | 会計基準の実践を学ぶ | 4 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | C | | |
| 274 | 0 | 消費税法基礎 VI | 控除税額や納税義務の有無の判定を中心と した税法理論を学習する。 | 4 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | C | | |
| 275 | 0 | 相続税法基礎 VI | 相続税、贈与税の実践的な問題の理解 | 4 後 | ## | 4 | 0 | Δ | 0 | C | | |
| 276 | 0 | 法人税法基礎 VI | 圧縮記帳の設定方法を中心とした法人税法 の体系を学ぶ。 | 4 後 | ## | 4 | 0 | | 0 | C | | |
| 277 | 0 | 消費税法速習 基礎IV | 仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供 を中心とした税法理論を学習する。 | 4 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 278 | 0 | 簿記論基礎呱 | 固定資産・有価証券の入門知識及び論理的 な思考を基に、文章問題を解答する。 | 4 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 279 | 0 | 財務諸表論基礎個 | 金融商品取引法の実践を学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 280 | 0 | 消費税法基礎 Ⅷ | 課税標準や簡易課税制度を中心とした税法 理論を学習する。 | 4 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | C | | |
| 281 | 0 | 相続税法基礎 Ⅷ | 相続税、贈与税の実践的な知識を網羅し文 章問題を解答する。 | 4 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | C | | |
| 282 | 0 | 法人税法基礎 Ⅷ | スピンオフ税制を中心とした法人税法の体 系を学ぶ。 | 4 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | C | | |

| 283 | 0 | 消費税法速習 応用IV | 納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の 特例を中心とした税法理論を学習する。 | 4 後 | 60 | 2 | 0 | | 0 | 0 |) | |
|-----|---|------------------|---|--------|----|---|---|-----------------|---|---|---|--|
| 284 | 0 | 短答式対策上 級総合IV | 模擬試験形式による効果測定 | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | , | |
| 285 | 0 | 管理会計論応 用演習Ⅲ | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | , | |
| 286 | 0 | 財務会計論応 用演習Ⅲ | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 前 | 60 | 2 | | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 287 | 0 | 企業法応用演 習皿 | 例外的な規定の適用範囲を含む応用的な問 題演習 | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 288 | 0 | 監査論応用演 習皿 | 例外的な規定の適用範囲を含む応用的な問 題演習 | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | , | |
| 289 | 0 | 経営学応用演 習皿 | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | , | |
| 290 | 0 | 租税法応用演 習皿 | 数学的な応用知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| 291 | 0 | 財務会計論簿 記上級IV | キャッシュ・フロー計算書に関する応用的 な会計処理を学ぶ | 4 前 | 60 | 2 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | |
| 292 | 0 | 財務会計論財 表上級Ⅲ | 連結財務諸表の作成に関する基礎及び応用 概念を学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | 0 | 4 | 0 | 0 | 1 | |
| 293 | 0 | 管理会計論上 級皿 | 財務会計との相違に着目し、より詳細な管 理会計を学ぶ | 4 前 | 60 | 2 | 0 | ◁ | 0 | 0 | 1 | |
| 294 | 0 | 企業法上級Ⅳ | 会社法上の主要な課題について学習する。 また、商法総則、商行為法及び金融商品取 引法も学習する | 4 前 | 30 | 1 | 0 | \triangleleft | 0 | 0 | 1 | |
| 295 | 0 | 監査論上級Ⅳ | 財務諸表の監査証明業務に関して、その制度や手続きについて、理論的裏付けも含めて学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | 0 | | |
| 296 | 0 | 財務会計論簿 記計算特訓Ⅲ | 連結キャッシュ・フロー計算書に関する実 践的な会計処理を学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | | |
| 297 | 0 | 管理会計論計 算特訓Ⅲ | 財務会計との相違に着目し、より詳細な管 理会計を学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | Δ | 0 | 0 | 0 | | |

| | 0 | 財務会計論簿 記上級演習 V | 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | (| 0 | |
|---|--------|-------------------|--|---|---|--------------------|---|----------------------|----------------------------|--|--|--|--|
| | O | 管理会計論上 級演習 V | 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | (|) | |
| | O | 管理会計論直 前演習Ⅲ | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | (|) | |
| | Э | 財務会計論直 前演習Ⅲ | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 4 前 | 60 | 2 | | 0 | | 0 | (|) | |
| C | O | 企業法直前演 習Ⅲ | 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 する解答も含む総合演習 | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | (|) | |
| C | O | 監査論直前演 習Ⅲ | 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 する解答も含む総合演習 | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | Ó |) | |
| C | O | 経営学直前演 習Ⅲ | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | (|) | |
| | O | 租税法直前演 習Ⅲ | 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 合問題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | Ó | 0 | |
| | O | 論文式対策総 合Ⅲ | 模擬試験形式による総合問題の効果測定 | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | Ó | 0 | |
| C | O | 財務会計論簿 記実践 I | 特殊商品売買及び帳簿組織並びに本支店会 計に関する実践的な知識を学ぶ | 4 前 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| C | O | 財務会計論財 表実践 I | 企業結合及び事業分離に関する基礎及び応 用概念を学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (|) | |
| C | O | 管理会計論実 践 I | 論理的側面から考察し、実践的な知識を学 ぶ | 4 前 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | (| 0 | |
| C | o J | 企業法実践 [| 会社法上の主要な課題について、学説や判 例にも触れながらその解釈を学ぶ | 4 前 | 60 | 2 | 0 | | | 0 | (|) | |
| C | O | 監査論実践Ⅰ | 公認会計士が担うべき役割を踏まえなが ら、実践的な監査業務について学ぶ | 4 前 | 30 | 1 | 0 | | | 0 | (|) | |
| | O | 財務会計論簿 記上級演習Ⅵ | 数学的・論理的な思考を用い、計算総合問 題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | (| 0 | |
| | | | COOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO | □ 記上級演習 V を行う □ 管理会計論上 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う □ 管理会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う □ 企業法直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対する解答も含む総合演習 □ 監査論直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合調習 □ 経営学直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合調習 □ 経営学直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う □ 和稅法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う □ 和稅法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う □ 財務会計論簿 □ 財務会計論簿 □ 財務会計論財 企業結合及び事業分離に関する基礎及び応用概念を学ぶ □ □ 財務会計論財 企業結合及び事業分離に関する基礎及び応用概念を学ぶ □ □ 財務会計論財 企業結合及び事業分離に関する基礎及び応用概念を学ぶ □ □ 財務会計論財 企業結合及び事業分離に関する基礎及び応期で変を対して、実践的な知識を学ぶ。□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | □ 記上級演習 V を行う 前 前 を行う 前 前 を行う 前 前 を行う □ 管理会計論上 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 4 前 を行う □ 管理会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 前 演習 □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 する解答を行う □ 企業法直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 する解答を含む総合演習 □ 監査論直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 有 が □ 監査論直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 □ 経営学直面 □ 和稅法直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 □ 財務会計論簿 特殊商品売買及び帳簿組織並びに本支店会 4 前 □ 財務会計論財 企業結合及び事業分離に関する基礎及び応 4 前 □ 財務会計論す □ 企業法実践 □ 企業法実践 □ 企業法実践 □ 企業法実践 □ 企業法実践 □ 企業法実践 □ 公認会計士が担うべき役割を踏まえなが □ 企業法実践 □ 公認会計士が担うべき役割を踏まえなが □ ないますなが担うべき役割を踏まえなが □ ないますながも □ ないますなが担うべき役割を踏まえなが □ ないますながも □ ないますながますながますながますながも □ ないますながも □ ないますながますながますながますながますながますながますないますないますないますないますないますないますないますないますないますない | □ 記上級演習 V を行う 前 30 | □ 記上級演習 V を行う 前 30 1 □ 管理会計論上 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 4 前 30 1 □ 管理会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 60 2 □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 60 2 □ 財務会計論直 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 30 1 □ 企業法直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 4 前 30 1 □ 監査論直前演 規定に関する理解を深め、複雑な判例に対 4 前 30 1 □ 監査論直前演 数学的・論理的な思考を基に、実務的な総 4 前 30 1 □ 配表 | □ 記上級演習 V を行う 前 30 1 | ○ 記上級演習 V を行う 前 30 | ○ 記上級演習 V を行う 前 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | ○ 記上級演習 V を行う 前 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 管理会計論上 数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答 4 前 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ | □ 記上級演習 V を行う 前 30 1 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | ○ 記上級演習 V を行う 前 30 1 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ |

| | | | | | | | | | | | _ | |
|-----|---|-----------------|--|--------|----|---|---|---|---|---|---|--|
| 313 | 0 | 管理会計論上 級演習Ⅵ | 数学的・論理的な思考を用い、計算総合問 題の解答を行う | 4 前 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С |) | |
| 314 | 0 | 企業法実践Ⅱ | 会社法上の主要な課題について、学説や判 例にも触れながらその解釈を学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | С | | |
| 315 | 0 | 監査論実践Ⅱ | 公認会計士が担うべき役割を踏まえなが ら、実践的な監査業務について学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | 0 | С | | |
| 316 | 0 | 財務会計論簿 記実践Ⅱ | 基礎知識の定着度確認を目的とする演習 | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | 1 | |
| 317 | 0 | 財務会計論簿 記演習 I | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | , | |
| 318 | 0 | 管理会計論演 習 I | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答 を行う | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 319 | 0 | 短答式対策上 級総合 V | 模擬試験形式による効果測定 | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 320 | 0 | 租税法実践I | 実務的な慣習や例外規定まで学習範囲を広 げ、高度な知識を学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С | | |
| 321 | 0 | 経営学実践 I | 近代的経営学を中心に企業のあるべき姿を学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С | | |
| 322 | 0 | 租税法実践Ⅱ | 実務的な慣習や例外規定まで学習範囲を広 げ、高度な知識を学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | | 0 | С | | |
| 323 | 0 | 管理会計論基 礎演習Ⅳ | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | , | |
| 324 | 0 | 財務会計論基 礎演習IV | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 後 | 60 | 2 | | 0 | 0 | С | , | |
| 325 | 0 | 企業法基礎演 習IV | 各規程の適用条件・範囲を正確に理解する ことを目的とする演習 | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 326 | 0 | 監査論基礎演 習Ⅳ | 各規程の適用条件・範囲を正確に理解する ことを目的とする演習 | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |
| 327 | 0 | 経営学基礎演 習IV | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | 0 | С | | |

| 328 | 0 | 租税法基礎演 習IV | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基 に、記述式問題の解答を行う | 4 後 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
|-----|---|------------------|--|--------|----|---|----|------|-------|----|------|----|----|----|
| 329 | 0 | 財務会計論簿 記実践Ⅲ | 企業会計基準の詳細及び製造業に関する実 践的な会計処理を学ぶ | 4 後 | 90 | 3 | 0 | Δ | | 0 | | 0 | | |
| 330 | 0 | 財務会計論財 表実践Ⅱ | 外貨建会計及び四半期財務諸表の作成に関 する基礎及び応用概念を学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | | 0 | | 0 | | |
| 331 | 0 | 管理会計論実 践Ⅱ | 理論的側面から考察し、実践的な知識を学 ぶ | 4 後 | 60 | 2 | 0 | Δ | | 0 | | 0 | | |
| 332 | 0 | 企業法実践Ⅲ | 会社法上の主要な課題について、学説や判 例にも触れながらその解釈を学ぶ | 4 後 | 60 | 2 | 0 | 4 | | 0 | | 0 | | |
| 333 | 0 | 監査論実践Ⅲ | 公認会計士が担うべき役割を踏まえなが ら、実践的な監査業務について学ぶ | 4 後 | 30 | 1 | 0 | Δ | | 0 | | 0 | | |
| 334 | 0 | 税理士簿記論 | 所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解 し、特に年末調整事務を行うために必要な 知識を習得する講義、演習。 | 4 後 | 60 | 2 | Δ | 0 | | 0 | | 0 | | 0 |
| 335 | 0 | 会計士租税法 | 実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類について の知識を習得するための講義、演習。 | 4 後 | 60 | 2 | Δ | 0 | | 0 | | 0 | | 0 |
| 336 | 0 | 一般教養Ⅲ | ビジネスで使用される応用的な熟語、四字 熟語、慣用句などを学ぶ。応用編の位置付 けで実施する。 | 3通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 337 | 0 | ビジネス教養 Ⅲ | 企業内で多岐にわたり使用される電卓のス ピード、正確性を高める実技演習を行う。 応用編の位置付けで実施する。 | 3通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 338 | 0 | 会計キャリア デザイン I | 面接試験において求められるビジネスマ ナーの応用を学ぶ。応用編の位置付けで実 施する。 | 3通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 339 | 0 | 一般教養Ⅳ | ビジネスで使用される熟語、四字熟語、慣 用句などを演習を通じて学ぶ。演習編の位 置付けで実施する。 | | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 340 | 0 | ビジネス教養 IV | 企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う。 演習を通じて、技能を身に付ける。演習編の位置付けで実施する。 | 4 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| 341 | O | 会計キャリア デザインⅡ | 面接試験において求められるビジネスマ ナーを学ぶ。演習編の位置付けで実施す る。 | 4 通 | 30 | 1 | | 0 | | 0 | | 0 | | |
| | 合 | <u></u> | 341 | 杉 | ·目 | | 64 | 9 (1 | 9470) | 単位 | 立 (. | 単位 | 時間 | 引) |

| | 卒業要件及び履修方法 | 授業期間等 | F |
|-------|--|-----------|------|
| 卒業要件: | 卒業の認定は、修業年限以上在学し、3,400時間以上を履修し、かつ 定められた授業科目及び単位数(64単位)を修得し、卒業審査に合格 した者について、校長が行う。 | 1 学年の学期区分 | 2 期 |
| 履修方法: | 第1学年:自由選択科目より790時間以上履修するものとする 第2学年:自習選択科目より850時間以上履修するものとする 第3学年:自習選択科目より850時間以上履修するものとする 第4学年:自習選択科目より850時間以上履修するものとする | 1 学期の授業期間 | 22 週 |

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。